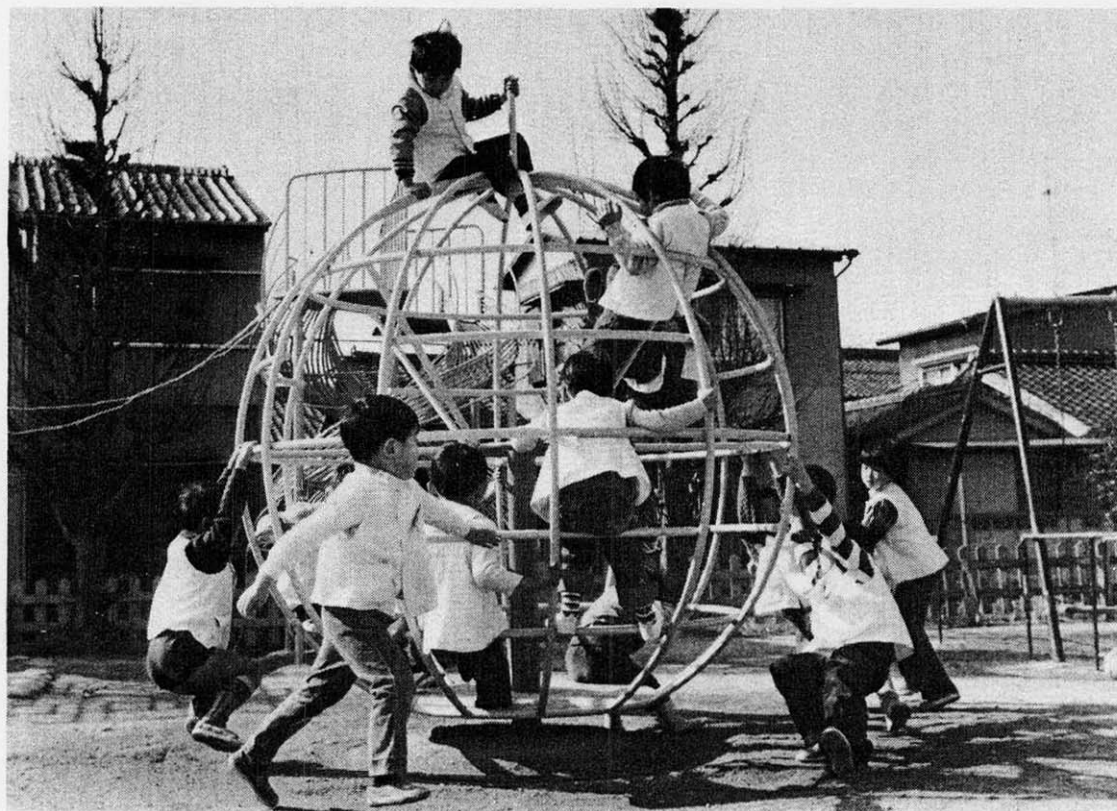




砂のトンネルに
ジャングルジムに
ブランコに
はたまたお店ごっこと
子どもの夢は
遊びから限りなく広がる
自然児として
潑刺と飛躍する子どもの姿の中に
ひとりひとりの
存在の重みさえ感じる

昭和53年3月1日／編集発行／岡崎市教育委員会



(そらまわせヨイショー 矢作幼稚園)

— 教育随想 —

岡崎市に住んで

勝木保次



は厳しく、冷暖房のなかった昔、他に理由もあつたにちがいありませんが家康が江戸に移っていったのは、気候の温暖さにもあつたのではないでしょうか。

私の郷里は岡崎の真北にあたる日本海に面した石川県小松市です。気候から言えば丁度逆で、冬の今頃は雪にとざされ太陽を見る事も少いのです。私の幼少の頃と今とは気候も少し変わった様ですが冬の間北の季節風が吹き荒れ、表日本に日が照っている間は雪が降り積ります。

そんな折、新幹線がきまつて故障しています。これは季節風が運んでくる雪を立山白山連峰がさえぎつて日本海沿岸に降らせ、福井県特に若狭地方には、さえぎる高い山脈がなく琵琶湖の上を吹き抜けた風が伊吹山を左へ廻つて濃尾平野に吹き込んで浜名湖までも吹き抜ける事を最近漸く知りました。運ばれた雪も名古屋辺りまできませんが、岡崎へは仲々とどかない様です。このための寒さは関東よりも厳しい様に思います。こうした自然の力の大きさを感ずると共に、人の心にも大きく作用する事を知りました。こんな素晴らしい自然に恵まれた土地に住んで、勝れた研究が出来なかつたらそれはうその様に思え、毎日をはげんでいるところです。

(生物学総合研究機構長)



かえつてきた笑顔

荻野スズ



「いい子、いい子、ばあ。」
と、おとうさんはいもうとばかりかまっている。ほんとうのおとうさんは、やさしいのにわたしをちつともかまってくれない。(H子)

こんな作文が見られたころ、H子の言動は目に見えて落ち着きを失つていった。気がいら立っているのか、以前のように仲間へ入つて遊べない。

私は、早速両親へ連絡し、家での様子を聞いてみた。

「いやあ。長い間待つて生まれた赤ん坊で、かわいくてかわいくて。H子のことかまわんわけじゃないけどい……。作文、読みましたよ。家内といっしょに大笑いしたところです。」

両親は数日後の日曜日、H子だけを連れ出し伊勢参りに出かけた。

H子は、電車の中で抱いてもらつたり、参道を歩きながら両親の手にぶらさがつたり、父親に肩車してもらつたりした。親の愛はH子を満足させ、おだやかな

生物学総合研究機構は昨年五月二日国会を通過して、翌三日に基礎生物学研究所と生物学研究所が岡崎市に発足しました。桑原万寿太郎、内菌耕二両博士がそれぞれ所長に任命されました。この二研究所を統括する機構の長に私が選ばれたのですが、当時私は東京医科歯科大学長の職にあり、次の学長が決定する迄岡崎に来ることが出来なくて、八月三日になつて漸く岡崎市にやつて参りました。

虫の音が盛んにきかれ、聴覚の研究を永らく続けてきた私には、その種類もよく判断されましたが、こんなすばらしい自然の音楽の中に眠る事は生れて初めての経験でした。少し涼しくなつてくると、雲雀が盛んに鳴いて舞い上等、昭和の初めからずっと東京に住み続けてきた私には、全く思いもかけない自然の豊さでした。

一方岡崎にきてから接した方達の総てが持つておられる豊かな人情味は、これまた大きい驚きでした。同じ日本に住んでいながら、どうしてこうもちがうのかと考えてみましたが、引越してしばらくして公園に出掛け、家康の遺訓碑を見て、この訓が市民の心に浸透している事を知りました。家康に対する尊敬の念の深さを現わしているにちがいありません。

夏から冬にかけて、流石に当地の気候

生物科学総合研究機構は昨年五月二日国会を通過して、翌三日に基礎生物学研究所と生物学研究所が岡崎市に発足しました。桑原万寿太郎、内菌耕二両博士がそれぞれ所長に任命されました。この二研究所を統括する機構の長に私が選ばれたのですが、当時私は東京医科歯科大学長の職にあり、次の学長が決定する迄岡崎に来ることが出来なくて、八月三日になつて漸く岡崎市にやつて参りました。

虫の音が盛んにきかれ、聴覚の研究を永らく続けてきた私には、その種類もよく判断されましたが、こんなすばらしい自然の音楽の中に眠る事は生れて初めての経験でした。少し涼しくなつてくると、雲雀が盛んに鳴いて舞い上等、昭和の初めからずっと東京に住み続けてきた私には、全く思いもかけない自然の豊さでした。

一方岡崎にきてから接した方達の総てが持つておられる豊かな人情味は、これまた大きい驚きでした。同じ日本に住んでいながら、どうしてこうもちがうのかと考えてみましたが、引越してしばらくして公園に出掛け、家康の遺訓碑を見て、この訓が市民の心に浸透している事を知りました。家康に対する尊敬の念の深さを現わしているにちがいありません。

夏から冬にかけて、流石に当地の気候

下山に源を発し、額田郡を抜けて岡崎をうろおしている男川、市内では菅生川と呼ばれ親しまれている。子供の頃小ぶなをつたふるさとの川である。

この菅生川も、戦後の急速な世の中の移り変わりを受けて姿を変えてきた。ふるさとの川が高度成長のいけにえとなつてひん死の状態におちいり、市民の河川美化運動でよみがえる過程を、魚の生態を通してふり返ってみよう。

終戦直後、物資は乏乏し、何の娯楽もない日々であったが、そのかわり自然は豊かであった。岸辺の水草や棒杭の影には色鮮やかなタナゴやカワバタモロコが



ふるさとの自然 帰ってきた 菅生川

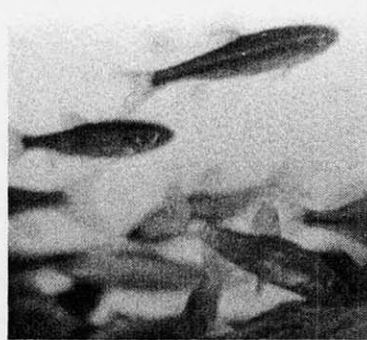
群をなし、テナガエビが長い触角をのぞかせていた。オイカワやカワムツ（通称ハエ）が、さお竹にセルロイドのうきでおもしろいほどよく釣れた。アユは、ガラ紡工場の水車のえん堤によって止められ、上流へはのぼらなかつたが、この付近にはまだのぼつてきており、初夏の雨後には小型の天然アユがよく釣れたものである。

殿橋下の土場には砂利舟が川底をさらつた砂が積み上げられており、この砂を堀りさばくと、シジミや、時にはヤツメウナギなども手に入れることができた。

近辺の水田にはタニシやドジョウがたぐさんいた。今見られるのはマドジョウという種類だけが、当時は小川や水路にシマドジョウやホトケドジョウもいた。アメリカザリガニが姿を見せたのはもつと後になってのことである。

こんな川の姿も、占領が解かれ、世の中に少しずつ物が出はじめる頃から、急に変化をみせはじめた。昭和三十年頃から工業化が著しくすすみ、工場の廃液のため、次第にドブ川と化していったがアメリカザリガニは急速に数を増していった。

その他の魚は、汚れに強いマドジョウとフナを残して急速に姿を消していった。各所のため池も、まず美しいカワバタモロコが見られなくなり、メソ（ウナギの幼魚）が姿を消し、ついにタニシも、ヒルさえも姿を消してしまった。かつてテナガエビと遊んだ川辺は、へどろにイトミミズがわき、菅生川も一時死の川



無心に泳ぐハエたち

と化してしまった。

昭和四十年頃をピークにした菅生川の汚れも、下水道の完備、工場の廃水規制などにともなつて少しずつ息をとりもとし始め、ミカちゃん放流に象徴される、市民ぐるみの河川美化運動に助けられて市内の中心部でもオイカワ・カワムツが群をなして泳ぐ姿を見かけるようになった。今では岡多線の鉄橋下付近にハエ釣りの人影がたえない。

都市化・人口増・工業化などで、菅生川の取水量も増加、さらに周辺部の宅地化の影響によると思われる水位の大幅な低下、河川改修による見た目には美しいコンクリート護岸など、魚の棲息環境をせばめる結果を生んだが、それでも目に見えてきれいになった水は、上流に追いつけた魚をふたたび呼びもどしつつある。

本年度の調査では、二十余种の魚を確認することができた。ふるさとに清流がもどってきた。喜ばしいことである。

(羽根小 永井 貞)

心をとりもどさせた。

このごろの日子はおどろくほど落ち着きをとりもどし、きょうも快活に歩き回っている。

(山中小)

先生、奥さんいるの

犬塚 一男

冬休みに入ったある日のこと、職員室から少し離れた新館に用事があつた。水飲み場に二年の野球部、陸上部、バレー部の生徒が七、八名かたまつて話をしていた。

「先生、奥さんいるの。」

「何だ、そんな事知らんのか。一児の子持ちだぞ。」

「ほんとう。ほんとうにいるの。」

「いるにきまつてる。」

私が結婚しているのを疑つての質問だ。すると意外な返事が返つてきた。

「だって先生の服装だらしないもん。」

職員室に上着をぬいできていた。左手を腰のあたりにやるとカッターシャツがズボンからはみだしていた。

「奥さん、だらしないねえ。だんなさんの世話ぐらい、しつかりせんといかんねえ。」

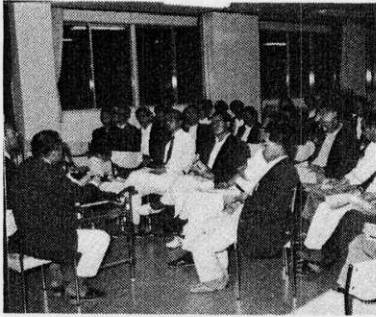
これには思わずふき出した。服装は奥さんの責任という見方。なる程と思いつ顔の赤くなるのを覚えた。

何げない顔で授業を受けている生徒は案外服装のセンスを採点して喜んでるのかもしれない。

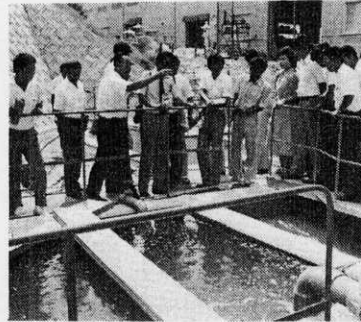
(矢作中)

岡崎の研修

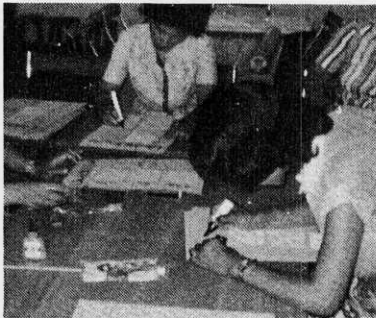
教師の力量を高め、技能の向上をはかることは、教育の発展につながる。この1年の主な研修を特集した。



教務主任研修会
教育長、藤井課長を講師に、現職教育の推進について協議。少年自然の家も見学。



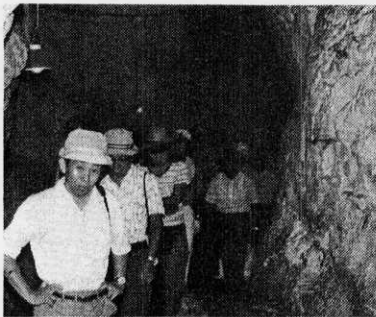
社会
市内巡検を夏休みに二回、「水と社会生活」「在来工業と近代工業の背景」について考える。



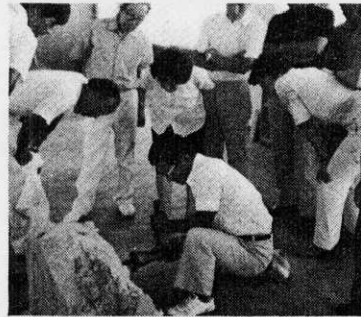
家庭
羽根小榊原校長を講師にプロック世話係を中心に、とうふの作り方、とうふ料理の実習。



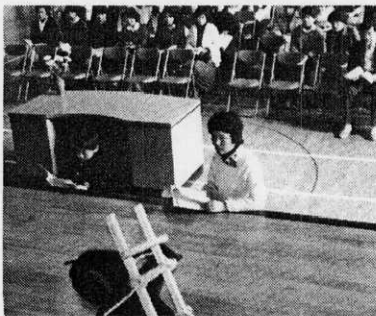
英語
「英語教育の現状について」前E.L.E.C教育課長山家保氏の話聞く。



理科
広島県帝釈峡での実習。石灰岩地形の観察、石灰洞内の調査、化石の採集等。



技術・家庭科
新しい電気工具を使用するの
実技講習。家庭科は味噌工場の
見学により研修を深める。



新任研修会
若さと熱意で年間十五回。「学級通信」「板書とノート」「水泳指導」「野外活動」等盛り沢山。



図工・美術
小中学校造形展では、先輩を講師に招き作品研究会を開催。出席した人の熱気あふれる話し合いとなった。



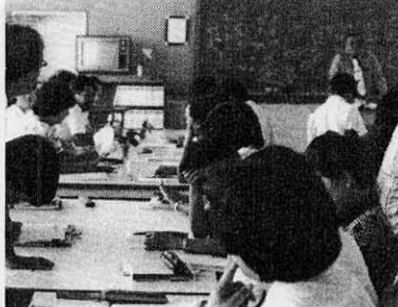
教頭会
「教頭のあり方」「新しい教育課程と学校運営」をテーマに提案と協議、有益な指導を受ける。



書写
「毛筆書写の基本と実技」楷書と行書を中心として基本理論と実習、鑑賞等。



音楽
リコーダーの初歩指導と、リコーダーアンサンブルの実技練習、歌唱(合唱)の実技練習等。



国語
「ひらがな」の実技講習、朗読の講習(谷地森アナ)。討の見方と指導(講師河合俊郎氏)。



校務主任会
後藤金好先生の「明日を考える今日の教育」を聴く。精神教育の重要性を知る。



教育工学
教育センター谷口誠示先生について授業設計の仕方を学習授業研究会を実施した。



保健
「保健だより」をよりよくするために、孔版の原理から編集、印刷までの実習。



女子教員研修会
新行和子氏より「菅江真澄と郷土の人々」について講話を聴き、深い感銘を受けた。

体育(小)
実際に児童を使って、バスケットボール、バレーボールの基本練習。審判技術の向上を図るため、ルールの講義と実技。
冬季研修会
本年度四回目。年々充実し、県外からも七十名参加。会場は新装成った少年自然の家で。

道徳
資料研究部会、年間指導計画委員会、授業研究部会等を開く。特に本年度は新指導要領をふまえた指導計画の研究を進める。

算教
低学年における数え棒指導の実際。算数教具(三角定規、コンパス等)の使い方。数字の指導とノート指導。

生活指導
登校拒否児童生徒、不適応児童生徒の指導法について、教育センターの相談事例をもとにした講演を聞いた。
学校図書館部
愛知県地区における学校図書館コンクールで最優秀賞を受賞した西尾中・寺津小の図書館を見学、先進校の実態を知った。

昭和52年度教育研究論文入選者

教育委員会賞

努力賞

●個人研究の部

●個人研究

学校名	氏名	主 題
梅園小	島田 成子	入門期の作文指導をこうして
広幡小	依馬 幸子	入門期の指導実践を通して
生平小	稲葉 道彦	直線的なひらがなの字体 —決定までの過程と問題点—
岩津中	中尾 剣一	漢字指導の改善
六名小	福応 謙一	子どもが主体的に取り組む 歴史学習
六南小	江村 力	数学的な考え方を育てる算数指導
男川小	加藤 栄	学級づくりにつながる 二年理科指導
大樹寺小	近藤 克実	製作活動からの出発
南 中	小倉 敏幸	学習意欲を高めるための 自己評価のあり方
連尺小	長谷川四郎	表現力を高める実践記録
矢作中	青木 宏氏	造形活動における主体的表現活動
井田小	鈴木 勘三	全校皆泳を目指す水泳指導
大樹寺小	吉田 久子	健康生活習慣化へのとりくみ
岩津中	深津 吉堯	子どもの意欲を増し技術の習得を めざした内熱機関学習
美川中	加藤 忠彦	楽しい英語の授業を求めて 自作TV番組
美合小	鈴木 松三	個の変容をめざす道徳指導
男川小	原 博司	生活を深める作文指導
竜美丘小	金子 一元	学級通信活動の質の 変容をめざして
美川中	鈴木 忍	読み書き話す能力の 開発をめざして
三島小	牧野伊佐夫	親子同時視聴の実践
連尺小	山下 八重	子どもと本の出合い

梅園小	鶴田小夜子	六南小	加藤まち子
美合小	後藤 弘	梅園小	飯見 紀男
広幡小	柴田 光子	福岡小	権田 隆志
六中小	太田 礼子	本宿小	本田 雅彦
福岡中	杉浦 博司	岡崎小	平川 和男
六名小	清水 淳吉	緑丘小	名倉 昭人
六名小	牧原 隆久	連尺小	岡本 知子
連尺小	杉浦 尚夫	山中小	和田美奈子
城南小	高木 和広	城北中	朝雄 伸子
六 中	神尾 昌彦	福岡中	牧内 映雄
葵 中	平野 有行	常磐中	関原 克之
美合小	深見 明	広幡小	堀 泰明
三島小	本多 有三	竜美丘小	柴田 隆夫
広幡小	渡辺 成代	常東小	太田 修司
六南小	山田 尚武	岩津小	片山美恵子
六 中	柴田 安則	矢北小	佐々木公麿
岩津中	平岩 昭	葵 中	中村 巖
連尺小	鈴木 敏雄	愛宕小	寛 美代子
連尺小	矢田 敏之	六名小	市川起左子
竜美丘小	清水 英子	矢西小	大野 光代
本宿小	早川 正己	南 中	近藤伊三雄
岩津中	高見 和仁	緑丘小	山田 惇子
福岡中	尾崎 弘明	六 中	荻野 良雄
常磐小	早川 円浄		

●共同研究の部

●共同研究

大樹寺小	社会科部会	本物の社会科の授業を求めて
城北中	社会科部会	学ぶ楽しさの生まれる 社会科授業の創造
常南小	算数部	ひとりひとりの考え方を 育てる学習指導
大樹寺小	算数部	数学的な考え方を育てる算数指導
甲山中	数学部会	ひとりひとりを生かす数学教育
岩津中	杉浦 正明 山口 明宏	ひとりひとりを伸ばす 美術科の実践
福岡小	現職教育部	ひとりひとりの能力を 伸ばす指導の実践
根石小	遠 足 検討委員会	手つなぎ遠足の実践
大門小	中野 知子 若 貴 子	学校における兄弟愛の育成
竜海中	現職教育部	放送による学習のあり方を求めて
羽根小	現職教育部 第一部会	手仕事の効果をめざして

矢西小	中学年部会	連尺小	道徳部
六北小	算数部会	愛宕小	道徳部
大樹寺小	理科研究部	六中小	道徳部
甲山中	理科研究部	奥殿小	一部会
井田小	現職教育部 第二部会	奥殿小	二部会
六 中	体育部会	愛宕小	理科部
井田小	現職教育部 第三部会	根石小	図書館部
秦梨小	給食部	羽根小	現職教育部 第二部会
香山中	現職教育部	矢作中	緑化委員会
甲山中	藤須賀千代子 松田 康子	矢作幼	現職教育部

応募総点数 375点 小学校 個人 204点
共同 58点

中学校 個人 70点
共同 38点 幼稚園 5点

「今日から、みんなに日記を書いてもらおうと思います。」ノートを手渡ししながら、こんなことを話したのは、運動会が終わって、しばらくした頃でした。真新しい作文ノートを手にして、ある子はうれしそうに目を輝かし、ある子は当惑したようにノートを眺めていました。

二学期を迎えて、子どもたちの間にも「書きたい」という意欲が高まってきましたが、思うように作文の時間がとれません。しかし、この期をのがしては、せつかくの意欲もそがれると、日記の宿題を考えたわけ

五・六年と学級を持ち上がり学期に一冊文・詩集を作ることになっている。一学期は詩集を、二・三学期は作文集をひとり一ページ程度、自分の歩みを学級全体のものにしようというわけだ。二学期の文集「なごみ」が完成ま近かな時のこと。夜七時過ぎ、学校の近くの日君に手伝わってもらいながら裁断していた時のことである。

「これで、明日みんなの手に渡るなあ。」
「やっと完成だね」
「ところで、三学期は、学年で卒業文集を作らにやいかんが

です。

次の日から、「につきいれ」と書いた箱には、思い思いに書かれた子どもたちの日記がたくさん入れられるようになりました。なるべく、その日のうちに

日記と子ども

梅園小

読んで、よく書けている部分に丸を打ってやり、終わりに批評や感想を書いて返してやるのですが、たくさんあると読み切れなくて、次の日になってしまします。でも、返した時に、何と

野々山 二ず江

気持などがよく書けている子どもの日記を読んでもやったり、書き方のヒントを与えてやりたりしているうちに、かなりよく書けるようになってきました。「わかった、わかった。名ふ

心を結ぶ文集

緑丘小

学級の文集はどうしようなあ。」「先生、作ろまい。」「でも、三学期は忙しいでなあ。」「いいよ、みんなで作るでー!」

名倉昭人

これは、各班が毎週交代で発行している学級新聞「のびっこ」のおかげでもある。はじめは見られたものではなかったが、今では私よりもきれいに印刷できる子も現われてい

子どもたちの方からはげまされてしまった。今では、学級四十二人誰でも原紙さえ渡してやれば、自分で切り版と鉄筆を出してきて切り

できあがった新聞や文集を手にした時の子どもたちの顔を見てみると、つい、私の顔もまゆが下がってしまう。こうした活動が、今では私の学級にとってなくてはならない

だをつくつてくれる店がわかりました。すごくうれしかったです。もうなくしません。」

これは、名札をなくしてしまつた子の日記です。とても心配していたけれど、作ってくれる店がわかって、ほっとしている様子が、実によく伝わってきました。

日記指導の結果、このように、かなりの子どもが喜んで文章を書くようになってくれました。また、教室だけでは十分できない子どもたちとの対話も、日記を通してできるようになり、始めてよかつたと思つています。

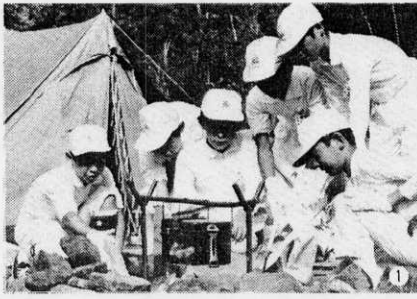
ものとなり、班を育て、係の仕事を担当しあい、学級全体を作りあげている。時間の使い方や仕事の計画、実行の仕方、学級会での話し合いなど、自分たちで考え、自分たちで行なえる子どもたちが変わってきた。教師と子ども、子どもと親・親と教師の心と心を結びあい、はげましかつて前進し続けている。

二十余年余り前、私が小学校の五年生の時、自分が書いた作文が一冊の文集にしてもらえた時の記憶。手刷りの印刷機のローラーをにぎった感触が、今、鉄筆をにぎる手ににじんできた。

教育日々



一年のあゆみ



①少年自然の家開所

児童・生徒の観声がこもりました
少年自然の家の生活

4・1 期待の新規採用教員百十八名を迎えて辞令伝達式
4・13 「やる気と思いやり」を第1に岩津中で現職教育総会
人出でにぎわう岡崎公園で写生大会
4・29 故大山康夫先生のご遺志を生かし大山文庫誕生
5・2 須淵の森に待望の「岡崎市少年自然の家」開所
5・10 「少年自然の家」の有意義な利用をと少年自然の家
指導者研修会、31日から甲山中を皮切りに集団宿
泊訓練開始
5・27 「教材追求に立つ授業」緑丘小研究発表会
6・5 第二十一回岡崎市中学校総合体育大会開催
6・15 みどりと太陽の町岡崎を願って「緑と花推進、ポスター、習字児童生徒作品展」美術館にて開催
6・18 県民の教養を高める県民大学二か月間に五回開催
6・22 10年計画で刊行をめざす岡崎市史の編集始まる
6・25 岡崎地区交通少年団指導育成協議会設立
6・28 「子どもの動きをかえよう」と題し奥殿小研究発表
会

7・3 世界一流選手による「技」と「闘志」を市民の前に披露した「日ソ」バレーボール試合
7・21 小学校球技大会、中学校市長杯総合体育大会開始
7・31 明日の岡崎を考える第五回市民大学始まる

7・31① 清水幾太郎氏・戦後教育の諸問題
8・7② 安西 篤子氏・言葉について
8・28③ 高木 東六氏・音楽と生活
9・11④ 都留 重人氏・(台風のため中止)
9・15⑤ 深田 祐介氏・もう一つの新西洋事情
9・23⑥ 木村 資生氏・遺伝学より見た人間の
過去と未来

8・1 八月十日まで十三の教科・領域で暑さを忘れて、
夏期実技講習、参加者七十二名と盛況

8・6 新装なった少年自然の家で新任教員自主研修会
8・11 第十七回全国中学生選抜水泳競技大会



②第二十回中学校総合体育大会

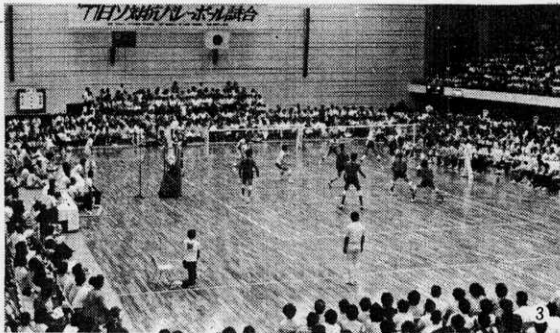
母校の名誉をかけて、会場いっぱい
に若さが躍動した。
(六月五日)

③日ソ対抗バレー

世界一流の技と技のぶつかり
あいが会場いっぱい観客の目
を釘づけにした。(七月三日)

④第五回岡崎市民大学

各界の第一人者を招いて開かれ
る市民大学は、教育文化都市岡
崎にふさわしく、毎回熱心な受
講者で満員であった。



⑤県視聴覚教育研究大会
 全国から集まった参会者に岡崎の視聴覚教育のレベルの高さを示す研究会であった。



⑥第十四回造形おかざきつ子展
 アイディアに満ちた子どもたちの作品は今年も市民を東公園に吸いよせた。(十一月三日)



8・12 するどい質問も及び出す中学校生徒会模擬議会
 8・13 第四回全日本中学生陸上競技選手権大会で葵中萩野君三位入賞
 8・18 第八回全日本中学生軟式庭球選手権大会へ矢作中生駒、山田組出場

9・13 「井田小の体力づくり」と題し井田小研究発表
 晴天のもと第二十四回市民体育祭
 10・10 城北中と連尺小を会場に愛宕小、童海中の協同研究により「学習意欲を高め、自ら学ぶ力を培うために放送による学習のあり方とその効果を確かめよう」と全国放送教育研究大会

10・12
 10・21 「生き生きと活動する大門つ子の育成をめざして」大門小研究発表会

10・28 「子どもの中の学校図書館」藤川小研究発表会
 岡崎高校留学生ミス・キャロンをゲストに、甲山中を会場にして岡崎市英語暗唱大会

11・8 西三河英語暗唱大会を美川中学で開催
 11・13 第九回市民マラソン大会・県岡崎総合運動場市民会館にて新学制施行三十周年記念式典
 11・16 記念講演は第一回南極越冬隊長西堀栄三郎氏

11・23 西三河中学校長距離継走大会・県営グランド
 11・23 日本小中学校合唱教育の核となる「全日本合唱教育研究会岡崎大会、第五回岡崎のハーモニー開催

11・25 「子どもの中の学校図書館」藤川小研究発表
 「自主性、協力を育てる生徒の育成」と題し葵中研究発表会
 12・6 「人間性豊かな子どもへの育成」をめざし、ナイフで鉛筆をけずる羽根小の研究発表会

1・20 「意欲をもって学ぶ生徒の育成」をめざし、いきいきとした授業の福岡中の研究発表会
 2・11 寒さに負けず中学校サッカー大会・福岡中優勝
 2・24 「書く力、読む力を育てる指導」竜谷小研究発表

⑦⑧新学制施行三十周年記念事業
 ・「岡崎の教育この三十年」出版
 ・記念映画製作
 ・グラフ「岡崎の教育」出版



・新学制三十年記念式典
 ・第五回教育文化賞授賞式



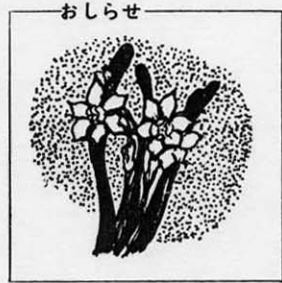
⑨相次ぐ校舎の増築・新築
 (写真は福岡中学校)

- 城南小 (9・1)
- 矢作南小 (3・14)
- 六ツ美北小体育館 (1・10)
- 矢作東小体育館 (1・12)
- 六ツ美中部小 (2・8)
- 井田小 (2・9)
- 福岡中 (2・16)
- 矢作中 (2・18)
- 六名小 (2・20)



昭和52年度研究発表校の研究動向一覽表

発表 月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料 (研究物 講師・助言者等)
5月 27日	緑丘小学校	全	教材追求に立つ授業	従来の授業に対する姿勢を反省し、形式的であった教材把握から、子供の実態をふまえた教材理解の上に立つ感動ある授業を求めた。	・研究物 「みどりはおもて」 ・助言者 粕谷 智・柴田 清 清水栄一・鈴木依治 山本彰一・高橋 孝先生
6月 28日	奥殿小学校	特別活動	子どもの動きをかえよう —活動力あふれる 学級づくり—	子どもの自主自発性を伸ばす係り活動の実践と学級内諸問題および集会活動の計画運営実践を高める話し合い活動の研究と実践。	・研究物 「子どもの動きをかえよう」 「村積にひびく子ら」 ・助言者 浅井善一先生 稲垣茂先生 磯村義三先生 畔柳吉朗先生
9月 13日	井田小学校	特活・体育	井田小の体力づくり ——たくましく 強じんな心身の育成——	教科体育の充実のみならず、保健活動も活発にして、総則体育の広い視野にたって、「体力づくり」を継続的に研究実践する。	・研究物 「井田小の体力づくり」 「事例研究」 ・講師 岡女短大 美濃部栄先生 手嶋義和先生
10月 12日	愛宕小学校・連尺小学校 竜海中学校・城北中学校	視聴覚教育	学習意欲を高め、自ら学ぶ力を培うために、放送による学習のあり方とその効果を確かめよう。	委嘱校(愛宕・竜海)、会場校(連尺・城北)と視聴覚部の共同研究。 ・テレビ番組の特性を生かし、「テレビから学び方を学ぶ」学習のあり方を追求。 ・学習意欲への動機づけとしてのテレビの役割を究明。 ・視聴能力を高めるための手だてとその効果。	・研究物 「愛知県学校視聴覚教育研究大会研究紀要」 ・講師 大阪大学 水越敏行先生
10月 21日	大門小学校	全	生き生きと活動する大門っ子の育成をめざして ——たて割り集団の活動を を中心に——	たて割り集団活動を学校生活の中にとり入れ、その活動の場をできるだけ設定して、生き生きとした人間関係の育成をめざした。	・研究物 「生き生きと活動する大門っ子の育成をめざして」 ・写真集 「大門のあゆみ」 ・講師 作家 小松左京先生
11月 25日	藤川小学校	全	子どもの中の学校図書館 ——学習指導における学校図書館の利用——	学校図書館の図書資料及び図書以外の資料を、学習に利用するにはどのようにしたらよいか研究——社会科学学習を中心として——	・資料 「学習指導における学校図書館の利用」
11月 29日	葵中学校	生徒指導	自主性、協力性を育てる生徒指導 ——学級を基盤として——	学級の指導を通して、やる気の啓発、実践力の高揚を図り、授業後30分の活動の時間で、それらがいっそう深められる研究。	・研究物 「自主性、協力性を育てる生徒指導」—学級を基盤として— ・資料 「あおいの実践1」 ・講師 東京学芸大学 飯田芳郎先生
12月 6日	羽根小学校	全	人間性豊かな子どもの育成 ——製作と行動を通して——	手や体の機能育成が、子どもの豊かな人間性をも育てるとの前提に立ち、手の機能訓練や遊びの指導、働く子の育成に努力。	・研究物 「研究紀要」「指導の手びき」「子どもへの扉4集」 ・講師 愛知県立大学 森田庸三郎先生
1月 20日	福岡中学校	全	意欲をもって学ぶ生徒の育成	生徒が 学習に興味をいだき、自主的、計画的に学習できるように、全教科で研究を進めた。	・研究物 「意欲をもって学ぶ生徒の育成」 ・講師 愛知教育大教授 霜田一敏 ・刊行物 「剛 操」 先生
2月 24日	竜谷小学校	国語	書く力・読む力を 育てる指導	・ひらがなや数字が正しく速く読みやすく書けるようにする指導。 ・教科書が大きな声で聞きやすく読めるようにする指導。	・研究物 「書き方練習帳」「読み方練習帳」「字形表・カード」 「字形指導・鉛筆の持ち方手引」 ・助言者 愛知教育大 神谷順治先生 県教委 中根清己先生



おしらせ

校舎増築・体育館・プール

相次ぐ喜びの完工式

地方自治体の財政硬直化が長期化する傾向の中にあつて、わが岡崎市では、五十二年度公共・教育諸施設工事が極めて快調に進んでいる。

学校教育関係では相次いで喜びの完工式が続いているが、本年度関係諸施設建設の概要は次のとおり。九月始動をめざし西部給食センター工事も急ピッチである。

●プール

緑丘小 低学年用25¹/₂コース
・高学年用25¹/₂コース・付帯施設の新設。工事費三四〇〇万円。龍誠建設。

●校舎

広幡小 低学年用20¹/₂コースなど増設。工事費一三八万円木俣組。
城南小 鉄筋三階建(一教室)

【寄贈刊物・資料等】

- ◇理科の研究第18集―各小中学校編 現職教育理科部
- ◇今週の読書一五〇号記念特集 教科指導員ほか
- ◇剛操―教師の教育記録― 福岡中学校職員
- ◇本との対話第3集

美川中学校職員

- ◇大給の里 奥殿社教員会
- ◇東貴和第3集 常磐東小学校
- ◇52年度二期指導員訪問の記録 教科指導員
- ◇文集中部の子六ツ美中部小学校
- ◇卒業文集立志の誓美川中学校
- ◇岡崎風土記 岡崎市婦連協編

■岡教組五十三年度の役員

- 二月十八日葵中での定期大会で昭和五十三年度の岡教組役員が次のとおり決まった。
- ▽執行委員長 太田泰永(大門)
 - ▽副委員長 隅田重次(矢作中)
 - ▽書記長 大久保正(岩津中)
 - ▽書記次長 長谷川四郎(連尺小)
 - ▽教育部長 熊谷満(義(南中))
 - ▽情宣部長 長谷川晴彦(城北中)
 - ▽調査部長 田中俊巳(竜谷小)
 - ▽福対部長 中根恒夫(三島小)
 - ▽青年 福應謙一(六名小)
 - ▽婦人 蜂須賀千代子(甲山中)
 - ▽会計委員 長坂則彦(大樹寺小)
 - ▽会計監査 近藤公一(羽根小)
 - 近藤正義(緑丘小)

■52年度月報編集委員

- 月報第四十七号から五十九号までの編集担当は次の通り。
- 権田 梅芳(連尺小長)
 - 荻野 富義(広幡小長)
 - 山田 利一(城北中頭)
 - 和出 昭夫(六北小頭)
 - 柴田 健三(大門小)
 - 加藤 進(甲山中)
 - 鳴田 稔(城北中)
 - 畔柳 吉朗(男川小)
 - 高橋 岩雄(葵中)
 - 大山 紘司(緑丘小)
 - 牧内 映雄(福岡中)
 - 竹内 昭次(六名小)
 - 金子 一元(竜美丘小)
 - 市川 ち江(羽根小)
 - 山田 一恵(藤川小)

●体育館
矢作東小 鉄筋二階建七九二平方¹/₂新設。総工費七二〇万円酒井建設。
六ツ美北部小 鉄筋二階建七九二平方¹/₂新設。総工費七三二〇万円。南部建築。

増築)二二三八平方¹/₂。総工費一億六八四五万円。中根組。
六ツ美中部小 鉄筋三階建(六教室増築)七六〇平方¹/₂。総工費七六一〇万円。村松建設。
井田小 鉄筋三階建(七教室増築)八五六平方¹/₂。総工費七四〇万円。深見建設工業。
矢南小 鉄筋三階建(一四教室増築)一七二七平方¹/₂。総工費一億五二六〇万円。中根組。
六名小 鉄筋三階建(六教室増築)七九四平方¹/₂。総工費七〇二〇万円。中根組。
竜谷小 鉄筋三階建(四教室増築)一三六三平方¹/₂。総工費一億五八四万円。サンモク工業。
福岡中 鉄筋四階建(四教室増築)七二五平方¹/₂。総工費六八二八万円。杉林建設。
矢作中 鉄筋三階建(五教室増

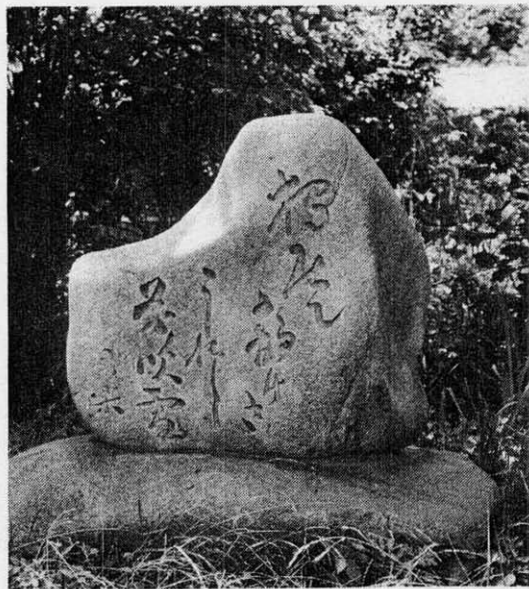
中学校陸上競技最高記録

性	種目	記録	氏名	校名
男	1年 100	12" 3	酒井 健次	矢作
	100	11" 3	川上 康治	城北
	200	23" 6	麻場 公禎	城北
	800	2' 05" 4	三浦 浩	城北
	3000	9' 31" 0	山本 鎮	東海
	100H	14" 3	磯村 哲也	甲山
子	800R	1' 37" 6	齊藤 鈴木 健藤 鈴木 孝遠	矢作
	低 400R	49" 3	矢作 鈴木 健藤 鈴木 伸	浦井
	走幅跳	6 m 17	岡田 一宏	津
	走高跳	1 m 78	鈴木 健二	矢作
	砲丸投	15 m 73	大崎 浩孝	岩津
	三種競技	2580	宮嶋 幸男	香山
女	1年 100	13" 8	榊原 伸子	甲山
	100	13" 3	山本 美代	甲山
	200	27" 8	新美 由香	甲山
	800	2' 29" 2	齊田 良美	矢作
	80H	12" 9	本田 治子	東海
	400R	53" 5	甲山 見美 岩新	林本
女	低 400R	55" 8	矢作 齊中 田根	子森
	走幅跳	4 m 98	山本 美代	甲山
	走高跳	1 m 40	伊奈利 惠子 齊藤 利美 神酒 伸美	矢作 山山 山山
	砲丸投	11 m 44	青山 富美	福
	三種競技	2339	伊奈利 惠子	矢作

同楽句碑

甲山中学校の南側に面して、市街地を一望できる高台に総持尼寺がある。寺への入口は、五、六十段の石段になっている。その石段を登りきると稲荷社の鳥居があり、「寺に鳥居が……」と、一瞬、違和感におそわれるが、まぎれもなく寺の本堂と築山稲荷が同居しているのである。境内の南側には数本の桜の木が植えられている。西隅には冬枯れた草が立ち、その中に背の低いうっかりすると見落しそうな位の句碑が三基ある。その一番前列の形の変わったのが同楽山人の句碑である。

独居で静けさうれし花吹雪
三月である。丁々会同人の手に
よって建てられたものであり、
その傍には、同人であった夢呂
冷颯の句碑が、今も仲よく並ん
でいる。



所在地 — 岡崎市中町総持尼寺境内

●カット

福岡小 藤田厚子

この本を

- 教育の再生を求めて 林 竹二 ¥1,300
筑摩書房 森嶋 通夫
- イギリスと日本 — その教育と経済 — 岩波書店 ¥280
- 墨 林 閑 話 神田喜一郎 ¥1,500
岩波書店 小林 秀雄
- 本 居 宣 長 新潮社 ¥4,000
- 人間内村鑑三の研究 畔上 道雄 ¥630
東京産報 外山滋比古
- 裏 窓 の 風 景 英 潮 社 ¥1,000
- 日本の手道具 創元社 ¥1,800
- 独りきりの世界 新潮社 ¥1,000
- 虫の文化誌 朝日新聞社 ¥1,200
- 統管江真澄のふるさと 伊奈繁弼 仲 彰一他 ¥1,600

「おはぎとぼたもちは違うよ。」
「もち米で作ったものがぼたもち」
「もち米がおはぎで、もちで作ったのがぼたもちですよ。」
ストープ談義が続く……。
おはぎ、ぼたもち……もうお彼岸である。「暑さ寒さも彼岸まで」。いよいよ本格的な春になる。

下の句にもいろいろある。吉川英治氏の「万能下の句」をひとつ。
牡丹花けさの女のうす化粧
コカコーラけさの女のうす化粧
そこでこちらもひねってみる。
ネギ刻むけさの女のうす化粧
ジャーシ着るけさの女のうす化粧
かぜぎみのけさの女のうす化粧

オアシス

ある日の社会の時間、O君が番傘を持ってきた。ひとしきり説明した後、彼と並んで傘の中に入った。
とたんに、ワットと声が上がった。O君は真赤だ。ワンパク坊主の影もない。親子ほど齢が違うのに、それでもみんな並んでみたいのかな。戸締りにいったら、落書きがいっぱいあった。

住めば都とやら。初めはいろいろに思っても、住みなれた所は居心地よく、古タヌキともなっても去り難いもの。
弥生好日、古タヌキども、人事の噂なども肴に会食。赤だしにふと山椒の香。今のイクラはいくらだったか、と気にしながらも、ひととき春の香をたのしむ。春宵一刻値千金とか。